

令和2年度 小樽市立望洋台小学校経営要項

〇はじめに

Society 5.0 時代の到来が予想されるような急激な社会的変化が進む中、未来の創り手となる子どもたちには、主体的に学びに向かい、必要な情報を判断し、自ら知識を深めて個性や能力を伸ばし、人生を切り拓いていくことができる「生きる力」の育成が求められています。そのため、学校教育においては、児童生徒に確かな学力を身に付けることができるよう、基礎的・基本的な知識及び技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に取り組む態度の涵養を目指し指導を一層充実していかなければなりません。

どのような時代が訪れようとも、学校は子どもが主人公です。一人一人が9年間（小～中）の「望洋台物語」の主人公です。中学校までの育ちを、9年間を見通した教育活動の中で支援し、知・徳・体のバランスの取れた人格形成を図るため、なりたい自分（夢や目標）に向かって、「子どもが生き生きと学び、夢や希望を実現できる楽しい学校」を目指しながら、これからの時代に求められる資質・能力を身に付けさせたいと考えています。

今日、いじめや不登校、基本的な生活習慣の乱れ、規範意識や学力・体力の低下など、解決すべき課題が山積しています。子ども一人一人が他人を思いやることのできる人間性を備え、心身ともに健やかに成長していくためには、学校・家庭・地域が一体となって課題や危機意識を共有した上で、連携協力していくことが重要になります。

また、社会生活を営む上でモラル・ルール・マナー等規範意識を身に付けさせるとともに、個々が認められ、必要とされているといった自己存在感・有用感等の自尊感情を育てていくことが急務です。そのために、家庭でしっかりと子どもを育て、学校で学ぶ、そして地域で伸びていくといった役割分担を軸に、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を社会と共有し、子どもの成長に協働して取り組む「チーム望洋台」～つながる教職員・保護者・地域～で「共育」することが極めて重要になります。

今年度の重点目標「なりたい自分に向かって 共に学び合い 認め合い 高め合う望洋台の子」～そろえる・つながる・つみあげる～を目指し、子ども一人一人を大切にされた教育活動を推進します。また、「保護者・地域が安心と信頼を寄せる社会に開かれた学校づくり」に努めます。今後も「凡事徹底（当たり前のことが当たり前でできること）」を学校・家庭・地域の合い言葉に人との関わりを大切にしながら、「ふるさとを愛し 自ら学び 心豊かに 未来を共に生きる望洋台の子ども」を育みたいと思います。

1 学校の教育目標（制定 昭和59年4月）

【 未来に向かって たくましく伸びる 望洋台の子 】

- 自ら考え 工夫する子 知（考える子）
- 思いやりのある やさしい子 情（やさしい子）
- 進んで行動し やりぬく子 意（やりぬく子）
- 明るく 健康な子 体（元気な子）
- 協力し 働く子 技（はたらく子）

2 本年度の重点目標

なりたい自分に向かって 共に学び合い 認め合い 高め合う 望洋台の子
～そろえる・つながる・つみあげる～

- 子どもが生き生きと学び、夢や希望を実現できる楽しい学校
- 保護者・地域が安心と信頼を寄せる社会に開かれた学校
- 子どもの成長に協働して取り組む「チーム望洋台」

3 経営の重点と具体的な方策

(1) 未来を創る力の育成

- ・主体的な学び・対話的な学び。深い学びの視点での授業改善
- ・みんなに優しい授業・学級・学校づくり
- ・英語専科教員やALT を効果的に活用した英語科と外国語活動
- ・ICT の効果的な活用 プログラミング教育の充実
- ・キャリア教育の充実（望ましい職業観・勤労観の育成）

(2) 豊かな心の育成

- ・道徳性の育成（特別な教科『道徳』）
- ・ふるさと教育の推進（小樽の自然や歴史、地域教材）
- ・読書活動の推進
- ・体験的な活動の充実（社会福祉体験など）
- ・コミュニケーション能力の育成（言語活動の充実）
- ・いじめ防止や不登校児童の支援

(3) 健やかな体の育成

- ・体力・運動能力の向上（調査結果の活用 体力向上に向けた継続した取組 なわとび運動）
- ・食育の充実
- ・健康教育の推進

(4) 家庭・地域との連携・協働の推進

- ・生活リズムチェックシートの活用 学校支援ボランティアの活用
- ・保護者・地域との連携（地域子ども教室、樽っ子学校サポートの活用）

(5) 学びと育ちをつなぐ学校づくりの実現

- ・学校種間の連携・接続の推進（小中一貫）
- ・教育環境の整備
- ・教職員の資質・能力向上（研修の推進等）
- ・開かれた学校づくりの推進（ホームページ 学校だより アンケートの実施）
- ・安全教育の充実（情報モラル 危機管理）

(6) 生涯各期における学習機会の充実

- ・「学校支援ボランティア」や「おたる地域子ども教室」など地域住民や民間団体と連携した取組
- ・生涯学習の充実（講座や講演会）
- ・市立図書館の活用
- ・総合博物館の資料や学芸員の活用
- ・文学館や美術館の活用

(7) 文化芸術の振興と文化遺産の保存活用

- ・文化芸術に親しむ（札幌コンサート）
- ・伝統芸能や無形文化財に触れる機会

(8) 生涯スポーツ・レクリエーションの振興

- ・各関係機関や団体等が主催するスポーツイベントへの参加

その他

- ・公開研究会の実施（11月13日予定）
- ・授業改善推進チーム（週1日 国語と算数を担任と一緒に指導）・他校3名の教師来校
- ・英語専科（週2日 3年以上の外国語活動及び英語科の指導）
- ・学力向上非常勤講師（4年生以上の算数に配置）